

別記様式（第 3 条関係）

会 議 録（１）

会議の名称		第 2 回桶川市協働審議会
開催日時		令和 7 年 8 月 2 7 日（水） （開会） 1 5 時 0 0 分・（閉会） 1 6 時 3 0 分
開催場所		桶川市役所 4 階 会議室 4 0 2
主宰者の氏名		桶川市協働審議会 会長 佐藤徹
議長の氏名		桶川市協働審議会 会長 佐藤徹
出席者氏名 （委員）		佐藤徹、三浦匡史、平間康孝、内藤明、木村尚之、臼田智子、青木敬一
欠席者氏名 （委員）		秋山節子、稲元良作、伊丹愛
事務局職員 職名及び氏名		総 務 部：副部長・柿沼正修 自治振興課：課長・中野栄司、副課長兼係長・武藤晋、 主任・三谷秀利、主事・関口莉穂
会 議 事 項	議 題	（１）第 7 期桶川市協働審議会について （２）桶川市の協働事業について （３）桶川市協働推進提案事業募集要項（令和 8 年度実施予定事業）について
	決定事項等	〔決定事項〕
配布資料		（当日） 1 次第 2 第 7 期桶川市協働審議会委員名簿 3 桶川市の協働事業について 4 桶川市協働推進提案事業一覧表 5 桶川市協働推進提案事業募集要項（令和 8 年度実施予定事業）素案

会 議 録（２）

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	1 開会 ・ 配布資料の確認
岩崎室長	2 あいさつ ・ 秘書室 岩崎室長よりあいさつ
事務局	3 議題 (1) 第7期桶川市協働審議会について ＜自己紹介＞ ＜会長・副会長の選出＞ 委員の互選により、会長に佐藤委員、副会長に臼田委員が選出される。 ＜審議会の公開、非公開の確認＞ 桶川市協働推進条例施行規則第13条第4項には原則公開と規定しているが、委員に諮った結果、公開とする。 ＜傍聴希望の有無の確認＞ ・ 傍聴希望希望者なし
議長	
議長	(2) 桶川市の協働事業について 議題（2）について説明を求める。
事務局	・ 資料の説明
委員	＜質疑応答＞ 協働推進提案事業の応募件数が令和元年度以降減少傾向にあり、令和5年度以降は1件となっている。他市ではコロナ禍以降、協働に関する事業の応募件数がコロナ禍以前の状況に戻りつつある状況も把握している。文化芸術活動など協働推進提案事業の補助金以外の補助金の状況は、件数が減少したままなのか、戻りつつあるのかなど把握しているか。
事務局	自治会の活動等を対象にしたコミュニティ推進事業補助金は、申請件数などがコロナ禍以前の状況に戻りつつあるが、協働推進提案事業は応募件数が減少傾向となっているため、今後は応募件数を増やすための工夫が必要と考えている。

会 議 録（２）

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員	桶川市協働推進提案事業一覧で、同一年度に２度応募している事業があるが、その理由は。
事務局	一度不採択になり、再度、事業内容を見直し応募し、採択される事業もある。
委員	協働推進提案事業として採択された事業は、その後、継続して事業が続いているのか。 また、協働推進提案事業は、自由提案型とテーマ設定型と２種類あるが、テーマ設定型の事業はあるか。
事務局	協働推進提案事業として補助金が受けられるのは３年間であり、その後予算の関係で終了する事業もあるが、補助金の交付期間が過ぎても、形態を変え、事業を実施している場合もある。 また、全て自由設定型の事業となっている。
委員	テーマ設定型の共同事業の提案が少ないため、何か対策をしていくべきなのではないか。
委員	他市の事例を参考に、庁内で連携を図り実施していただきたい。
事務局	協働に関する職員研修などを実施しているが、他市の事例等を参考に研究していきたい。
議長	（３）桶川市協働推進提案事業募集要項（令和８年度実施予定事業）について 議題（３）について説明を求める。
事務局	・資料の説明
委員	令和８年度のテーマ設定型事業はどのように決定するか。
事務局	本審議会後、１０月上旬までの期間で庁内に照会する。
委員	総合計画や各課が所管する個別計画の位置づけを踏まえ、協働のメリットや必要性が伝わるように照会していただきたい。

会 議 録（２）

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	第六次総合計画では「みんなでつくるまち」を掲げ、政策を推進していくこととなっている。 他市町におけるテーマ設定型事業などを参考に、各課へ働きかけていきたい。
議長	4 その他 事務局から説明を求める。
事務局	・ 今後の桶川市協働審議会の予定等について説明
	5 閉会